

最優秀賞を受賞された1年5組の皆さん、優秀賞を受賞された1年1組と7組の皆さん、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。どのグループの合唱とも、甲乙つけがたく、いずれも高いレベルでした。2年生のコーラスも、さすがのハーモニーと表現力でした。今、皆さんの授業中の様子を見せてもらっていますが、音楽の授業のときに、ホントに一生懸命に、全体練習、パート練習を繰り返している姿を見せていただきました。四條畷高校の生徒さんは、いつもいつも、何事にも、一生懸命、取り組んでくれるのが、とてもうれしいです。

私も高校の時は、音楽を選択していました。そして発表会で、コーラスを行いました。ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトの「戴冠ミサ」でした。「♪ Glória ~」。テノールでした。最近の事は、すぐ忘れてしまうのに、高校生頃のことは、不思議なくらい、よく覚えています。「戴冠ミサ」は、もちろん名曲で、メロディもハーモニーも美しいのですが、ただ歌詞がラテン語でよくわからないこともあり、楽譜のとおりにならざるを得ないような気がして、正直、あまり楽しくありませんでした。今日は、皆さんが、とても楽しそうに歌っているのを見て、それも大変すばらしかったと思います。

吹奏楽部、コーラス部、ギターマンドリン部、並びにピアノを独奏してくれた皆さん、日頃の練習の成果を十分発揮して、素晴らしい歌声や演奏を聴かせてくれました。ありがとうございました。これからもしっかりと練習を重ねて、さらに高いレベルをめざしてください。

音楽などの芸術は、生涯楽しめて、そして人生を豊かにしてくれます。私は、老後の楽しみに、ボイストレーニングのレッスンを受けたいと思っています。そして高音を鍛えて、歳をとっても、ミスチルの桜井さんやスピッツの草野さんと同じキーで、歌い続けたいと願っています。

最後に、「四條畷高校音楽芸術祭2019」にお越しいただいた皆さん、早くからこの日のために準備を重ねてくださったスタッフの皆さん、そして何より素晴らしいパフォーマンスを見せてくれた出演者の皆さん、すべての方にお礼を申し上げて、私からの講評といたします。お疲れ様でした。そして、豊潤で至高の午後のひと時を、ありがとうございました。